第8回　大和高田市
口腔ケア研修会（医科歯科連携）実施報告

● 日　　時：平成 29 年 1 月 26 日（木）17 時 30 分～19 時 30 分
● 場　　所：放射線治療棟　3F　大会議室
● 参加者数：・院外　合計 39 名：歯科医師（市内：19 名・市外 13 名）
　　歯科衛生士 7 名、薬剤師 1 名
　　・院内　合計 27 名：看護師 19 名、管理栄養士 3 名、PT1 名、ST1 名、MSW　3 名
● 講　　師：奈良県立医科大学　口腔外科　助教　青木　久美子　先生
　　地域医療連携センター　センター長　高幣　和郎　先生
　　耳鼻咽喉科　副医長　横田　尚弘　先生

高幣先生よりまず、『ウィルス性肝炎』についての講義がありました。タイプの違う肝炎についてそれぞれの発症機序や検査、治療について説明がありました。

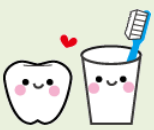
次に、横田先生より『嚥下機能評価』について講義がありました。嚥下の仕組みの詳細や当院で実践される嚥下機能評価について説明がありました。

青木先生からは、『嚥下チームの連携について』講義がありました。チームは、主治医、看護師、言語療法士、栄養士等と多職種で構成されるが、その中でも、チームの要になるのが、最も接する機会が多い病棟看護師となります。病棟看護師の“感知”のもと、チームで情報共有することで、効果的な関わりができると話されていました。

そして質疑応答では、歯科医師から、ある病院での往診の際、「患者さんを診て下さい」とだけ言われ、診察に至るまでの経緯についての説明がなく、大変困惑した。患者さんの状態や経緯を把握した上で依頼して欲しいと言われたことが、深く印象に残りました。

嚥下障害を回復するためには、1人1人の“感知する力”が重要であり、業務多忙の中で如何にして養うことが出来るのか？あらためて考えるきっかけになったように思います。

今回は、多数の参加者があり、各職種における課題を考える有意義な研修会となりました。今後も御協力の程お願い致します。



参加有り難うございました。
皆さま、お疲れ様でした！